

令和2年度 奈良市子ども会議 報告書

テーマ :コロナ禍での奈良市の「新しいおもてなし」とは？



奈良市
子ども政策課

目次

I 奈良市子ども会議の概要	1
1 奈良市子ども会議について	1
2 令和2年度奈良市子ども会議開催状況	1
3 ファシリテーター	1
4 子ども参加者	2
5 サポーター	3
II 奈良市子ども会議の開催	4
1 奈良市子ども会議の内容	4
2 振り返りシート集計結果	7
3 アンケート集計結果	9
III 奈良市子ども会議意見書	13

別冊資料

- 令和2年度奈良市子ども会議 意見書



I 奈良市子ども会議の概要

1 奈良市子ども会議について

奈良市では、子どもたちが、今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるような、子どもにやさしいまちづくりを目指して「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、平成27年4月から施行しました。

奈良市子ども会議は、この条例の規定に基づき、子どもの意見表明や参加を支援するための取組で、この会議に参加する子どもたちが子どもにやさしいまちづくり等について話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的としています。

今年度は、令和元年度奈良市子ども会議で市長等へ提出したことを子どもたちとともに実施することを予定していましたが、コロナ禍の影響、オリンピックの延期により、当初案の実施が困難となったため、当初案の来年度実施に向けて、話し合うテーマを「コロナ禍での奈良市の『新しいおもてなし』とは？」とし、提案内容の調整（コロナ対策を取り入れる等）や新規メンバーの確保を行うために、オンラインで2回実施しました。

今後は、コロナによる影響を考慮しながら、提案内容の調整を関係各課と行った上で、必要になる場所や日程、子ども参加者と奈良市の役割について考え、令和3年度での提案の具体的な実施を目指します。

2 令和2年度奈良市子ども会議開催状況

（1）開催日・テーマ・参加人数

回	開催日	テーマ	参加人数
第1回	令和2年12月24日（木）	「仲間と出会い、課題を共有しよう」	30人
第2回	令和2年12月28日（月）	「コロナ禍での『新しいおもてなし』を提案する」	27人
—	令和3年3月	提案内容に対する市長のコメント 動画公開	—

（2）開催時間・場所

- ▶ 開催時間 午前10時から正午まで
- ▶ 開催場所 オンライン開催（GoogleのG Suite for EducationのMeetを使用）
奈良市役所 中央棟6階 第1研修室（事務局及びサポーター）

3 ファシリテーター

特定非営利活動法人 子どもの権利条約総合研究所関西事務所所長 浜田 進士

4 子ども参加者

10歳から17歳までの子どもを対象に、公募等により募集し、30名の子どもが参加しました。

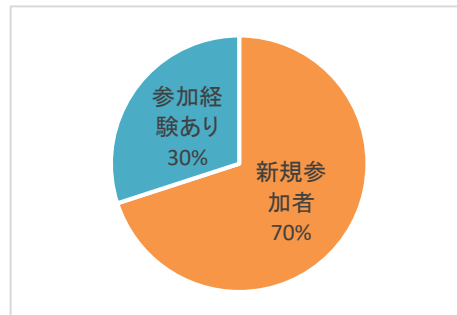
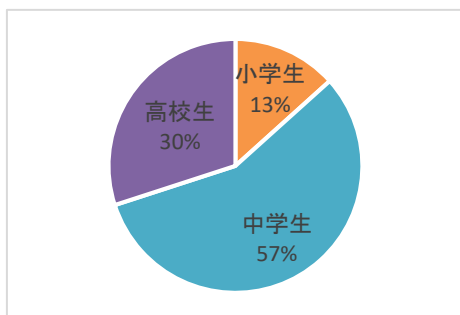
(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年		氏名	学校／学年
1	まつだ ひろただ 松田 昊也	都南中学校 2年	16	おおば しゅんご 大庭 駿吾	明治小学校 6年
2	おおもと かんえい 大本 幹英	京西中学校 2年	17	たにだ にこ 谷田 仁胡	済美小学校 4年
3	いばらき めぐ 茨木 恵	京都教育大学附属 高等学校 2年	18	しばた ふうか 柴田 ふうか	三笠中学校 2年
4	くりもと みどり 栗本 みどり	京都教育大学附属 高等学校 2年	19	しみず イチロー 清水 イチロー	春日中学校 1年
5	ふじがみ ひめみ 藤上 媛美	東市小学校 5年	20	はしなが めい 橋長 芽生	春日中学校 1年
6	たにだ としあき 谷田 俊明	春日中学校 1年	21	なかにし すみか 中西 澄夏	伏見中学校 1年
7	あかさか むさし 赤坂 武紗志	春日中学校 1年	22	ごいし たくみ 五石 拓見	伏見中学校 2年
8	もりもと るぜ 森本 楼世	伏見中学校 1年	23	まぶち いちか 馬淵 苺歌	明浄学院高等学校 1年
9	ますだ しゅうえい 増田 修英	右京小学校 5年	24	たなべ みうみ 田辺 美海	登美が丘北中学校 3年
10	まえだ りお 前田 梨緒	伏見中学校 2年	25	いしだ わかば 石田 若葉	一条高等学校 1年
11	むかいやま はると 向山 温登	上宮高等学校 3年	26	ふるかわ たいち 古川 太一	一条高等学校 1年
12	しばさき もも 芝崎 もも	奈良女子大学附属 中等教育学校 2年	27	さいとう さくら 斎藤 咲良	一条高等学校 1年
13	まんとく かずひろ 万徳 一弘	伏見中学校 1年	28	おぐに さよ 小國 咲代	一条高等学校 1年
14	しぶたに いっしん 渋谷 一心	都跡中学校 2年	29	しば ちより 柴 知依	一条高等学校 1年
15	つじ かいと 辻 海翔	伏見中学校 2年	30	おのでら りのん 小野寺 凜音	伏見中学校 1年

内訳（単位：名）

小学生	4
中学生	17
高校生	9

新規参加者	21
参加経験あり	9



5 サポーター

奈良市内に在住または在学している大学生等を対象に募集し、2名の大学生が参加しました。

（応募受付順・敬称略）

	氏名	学校／学年
1	なかむら かおり 中村 香織	立命館大学 4年
2	いぐち まみ 井口 真実	奈良女子大学大学院 1年



Ⅱ 奈良市子ども会議の開催

1 奈良市子ども会議の内容

(1) 第1回「仲間と出会い、課題を共有しよう」(12月24日開催)

10:00 開会

- ・開会あいさつ(子ども未来部長 鈴木 千恵美)
- ・事務局紹介

10:10 ファシリテーター紹介

子ども会議のねらいと全2回のスケジュールを説明

10:15 アイスブレイキング

- ・ひとこと自己紹介

10:30 奈良市からの情報提供

- ・令和元年度子ども会議のふりかえり(事務局)
- ・奈良町にぎわいの家の現状について説明(奈良町にぎわいの家)

10:50 質疑応答

11:00 市長あいさつ、記念撮影

11:10 休憩

11:20 「コロナ禍で感じていたこと」をテーマにグループワーク

- ・コロナによる自粛状況の中(3~5月頃)で感じていたことは?
- ・学校が再開されたときはどう思いましたか?
- ・今、コロナ第3波がやってきていることに対してどう感じていますか?

11:40 全体でどんな意見が出たのか分かち合い

11:50 全体での振り返りとまとめ

12:00 閉会



(2) 第2回「コロナ禍での『新しいおもてなし』を提案する」(12月28日開催)

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認
- ・ 今日のゴール「市長へ提案する内容を考えよう」

10:05 アイスブレイキング

- ・ ひとこと自己紹介

10:15 前回の会議の振り返り

10:25 グループワーク

以下3つの視点から意見を出す

- ・ 令和元年度子ども会議提案内容実施にあたってどんなコロナ対策が必要か？

【令和元年度子ども会議提案内容】

- ① 日本文化のイベント
- ② 奈良のおすすめの場所の広報活動
- ③ 街頭インタビュー

- ・ コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？
- ・ 「奈良に行ってみよう！」と思ってもらうためにはどうしたらよいか？

10:50 全体でどんな意見やアイデアが出たか分かち合う

10:55 休憩

11:00 グループごとに意見をまとめる

11:15 全体でどんな意見やアイデアが出たか分かち合う

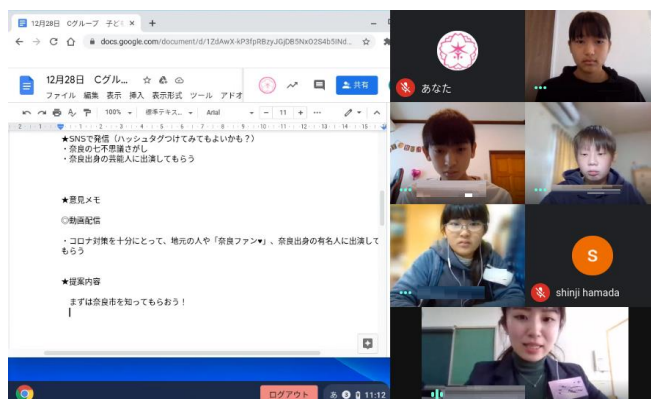
他のグループへの質問等

11:30 奈良市職員よりコメント

(教育長、奈良町にぎわい課、観光戦略課)

11:35 記念撮影

11:40 閉会



(3) 令和2年度奈良市子ども会議意見書の提出（令和3年3月）

子どもたちの提案内容をまとめた意見書を事務局が作成し、市長へ提出した。

意見書提出後、提案内容に対する市長のコメント動画を子ども参加者に向けて公開した。



2 振り返りシート集計結果

奈良市子ども会議の各回で子どもたちにその日を振り返るアンケート(振り返りシート)を記入してもらい、子ども会議についての意見を聞きました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数 第1回 30名
 第2回 27名

(問1) 楽しかったですか？

選択肢	第1回		第2回	
	人数	%	人数	%
とても思う	17	57%	19	70%
そう思う	13	43%	6	22%
そうでもない	0	0%	2	7%
そう思わない	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%
計	30	100%	27	100%

(問2) わかりやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回	
	人数	%	人数	%
とても思う	13	43%	17	63%
そう思う	17	57%	8	30%
そうでもない	0	0%	1	4%
そう思わない	0	0%	1	4%
全く思わない	0	0%	0	0%
計	30	100%	27	100%

(問3) 話しやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回	
	人数	%	人数	%
とても思う	11	37%	17	63%
そう思う	15	50%	8	30%
そうでもない	2	7%	1	4%
そう思わない	2	7%	1	4%
全く思わない	0	0%	0	0%
計	30	100%	27	100%

(問4) 今日の子ども会議に参加して、感じたこと、気づいたこと、考えたことなど…なんでも書いてください！

① 第1回 (※一部抜粋)

・意外と気軽に話し合えて楽しかったです。

・自分と違う学年の人もいたので、他の学年の人の考えも聞けてとても楽しかった。いまの中3の人の受験のことがばり注目されていたけど、高校に受かった人たちは高校に行けないし、受験が終わったのにも関わらず、外に遊びにいけない不自由な休校だったことがわかった。また、インターネットの配信の設備が整っている学校は、不自由なく休校期間を過ごせていたことが、わかったことが驚きだった。コロナのせいで、できなくなったこともあるけど、今だからこそできる取り組みもあることがわかった。

・今日話し合ったことでたくさんの人の意見が聞けて良かったです。みんなコロナに対しての思いは似ていました。みんなの話す内容を聞いていると、臨時休校が終わってから友達にあったことが嬉しかったと感じたり、普段は嫌な勉強もできてよかったと感じたりしたという意見が多かったです。このことから「当たり前の日常が当たり前にあることが幸せ」という言葉が、心に響きました。

・各グループだけではなく、他のグループの意見もまとめて教えていただけたのが良かったです。全員が写っているときは少し、話しづらかったけど、グループを分けることで、人数が減って話しやすかったです。オンラインだと、少し聞き取りにくいところもあったので、やっぱり会って話したいと思いました。話を進めていただきありがとうございました。第2回が楽しみです。

・前半は仕方ないですが後半も少し話しづらい雰囲気だったな～と思います。次の28日の子供会議では自分から積極的に話していきたいと思います。

・全体からグループへ移る際に自分の端末の音が聞こえなくなってしまい、グループの話す時間が短くなってしまった。私もそうだが、奈良県以外に京都、大阪府の学校へ通っている人もいたので、学校が再開されてからどう感じたのかそれぞれ意見が異なっていて興味深かった。にぎわいの家での取り組み等を聞いていてコロナで出来ることが少ない中とても沢山のイベントを開催していて凄いなと思った。何か次回の話し合いに活かして行けたらと思う。

・時間が短かったので、あまりちゃんと話せなかったです。

・話し手以外がミュートしているので相槌などがなくて少し悲しかったです。

・状況によってはオンライン会議も便利でいいとおもいましたが、実際に合って話すほうが意見が出やすいと思いました。多分、オンライン会議になれていないことが大きいと思います。

・2時間だけで少し物足りなかった。

② 第2回 (※一部抜粋)

・オンラインということで、緊張していたから話し合いが難しかったです。実際に会わないと難しいこともあるのだと思いました。でも、いろいろな人の話を聞くことができたのでとても楽しかったです。

・一回目と比べてよりほかの学校の人と話しやすく、より話し合いが活発になったと思います。

・感染対策をした上で観光客の人に出来ることがこんなにも沢山あると知ってこれからの私たちにできることを考えさせられました。

・例年より会議回数が少なかったり、休憩を個人でとることになったので他のメンバーと雑談などをして仲良くなる時間がなかったのが残念でした。

・どうしたら一番いい方法で外国の方にインタビューができるのかなと思いました。

・やっぱりコロナの対策が一番難しいと思いました。学校などでは住所を把握しているので、コロナになっても連絡しやすいけど海外の人だと電話番号しかわからないから難しかったです。よく街頭で呼びかけているけれど、コロナを考えるとサイトやyoutubeなどで呼びかけたほうが良いと思いました。ショップで土産を売ることにしてはふるさと納税がわかりやすいと思いました。イベントだけを配信するだけではなくコロナ対策関係の動画も出すと、どんなコロナ対策をしているのかわかるからやったほうが良いと思いました。

・あんまり発表できなかったけど、Aグループのサポーターさんが、私の意見を分かりやすく短くまとめてもらったので、みんなに伝わったので良かったです。子ども会議は、ほとんど子どもだけなので話が分かりやすいです。

・やりたいことがあっても色々制限があるので、実現可能な案が出るか不安でしたが、みんなの色々な意見を聞いて、来年実際にできそうな企画があったので嬉しかったです。

・今年の子ども会議はコロナの影響で回数が少なかったけどどのグループもそれぞれ「コロナだからこそ出来ること」という例年とは違う中色々なアイデアを発表していて凄いなと思った。

Eグループの「市民だより」に載せる、「SNS等で広める際に奈良県のインフルエンサー(芸能人、ブロガーさん、市長さんetc...)の方に広めてもらうように伝える」という自分の意見が通ったことがすごく嬉しかった。

2回目は全員ミュートを外して話したり出来たので楽しかった。

・コロナ禍でいろいろと変わってしまったことも多くあるけど、それに対応してまたバネにして伸びて行くことが出来ればいいという気持ちがより一層強まりました。

3 アンケート集計結果

第2回奈良市子ども会議終了後には奈良市子ども会議全体を振り返ってのアンケートを子どもたちに記入してもらいました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数 28名

(問1) 奈良市子ども会議のことを何で知りましたか。(6名からの複数回答あり)

選択肢	人数	%
学校での案内	19	54%
チラシ	7	20%
友達や保護者からの紹介	3	9%
奈良市のホームページ	2	6%
子ども未来部Twitter	1	3%
口コミ	0	0%
その他	3	9%
計	35	100%

(その他)

- ・兄が行っていて自分は去年も行っていたので
- ・生徒会での案内
- ・送られてきた手紙から

(問2) 奈良市子ども会議全体を通して、満足でしたか。

選択肢	人数	%
満足	21	75%
やや満足	4	14%
普通	3	11%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	28	100%

(その理由) ※一部抜粋

【満足】

- ・自分の意見がしっかり言えてとても満足しました。
- ・他の学校の人といろいろな意見を出し合うということはあまりないので、とてもいい経験になったと思うからです。
- ・オンラインだったけれどみんなが意見を出せるし、楽しかったし、楽しそうだったからです。
- ・みんなが私の話をしっかり聞いてくれたのでとてもうれしかった。学年はちがうけど、みんなと同じ接し方でうれしかったです。
- ・短い時間ではありましたが、様々な意見を聞くことができましたし、私1人では到底考えられないなあっていうところまで突っ込んだ意見もたくさんあったので、得るものが多かったです。また、奈良市の職員の方やスタッフの皆さんをはじめ、それぞれが実現させようという強い思いを持って取り組んでいる姿が見受けられ、お互い刺激をされながら取り組めたと思うからです。学校では本気でやる人とやらない人との間に隔たりを感じるがありますが、そのような隔たりなく子ども会議は参加できたと感じました。
- ・意見が言いやすそうな雰囲気ので他の人の意見も聞けて新鮮だったからです。
- ・コロナ禍で外出等が出来ない、学校が休校になった等の自分のような人達と話し合えたり、違う学校の違う学年の人等と意見を言って話し合う場は中々ないなと思ったから。市長さんや市役所の職員さん、浜田さん等と直接ではないが話が出来て嬉しかった。自分の住んでいる奈良の町おこしに自分が携わることが出来て嬉しかった。

【やや満足】

- ・意見を深め合うことが出来たから。
- ・もう少し時間をかけて話し合いをしたかったです。
- ・意見をしっかり言うことができたから。

【普通】

- ・やはりMeetは面白い。直接会ったほうが話しやすい。コロナだから仕方がないが。
- ・あまり快適にアクセスできなかったから。
- ・あまり話し合える時間がなかったから(特に1回目)

(問3) 奈良市子ども会議全体を通して自分の意見を言うことができましたか。

選択肢	人数	%
十分できた	16	57%
できた	11	39%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	1	4%
まったくできなかった	0	0%
計	28	100%

(問4) 来年2021年にみなさんの提案を実施する予定ですが、子ども会議に来年もまた参加したいですか。

選択肢	人数	%
とても参加したい	15	54%
参加したい	11	39%
どちらともいえない	2	7%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%
計	28	100%

(問5) また奈良市子ども会議に参加するとしたら、どんなテーマで話し合いたいですか。 ※一部抜粋

- ・過去の子ども会議では外国の方へのおもてなしがメインだった様なので日本の方へも何かおもてなしができないかもし日本の方にするとしたらどの年層をターゲットにするのか
ex)・定年退職された老夫婦の旅行、子供のいるファミリー層、1人で観光に来た若い方etc…
コロナが続いているのか分からないが今回は以前でた議案書から話し合ったのでもし良ければ引き継いで欲しい。
- ・前年度参加したインタビュー、今年度掘り下げて話し合った広報活動は実現させたいです！
- ・商店街を盛り上げる方法
- ・オリンピックが終わったあとも観光客に来てもらうにはどうしたらいいか？
- ・奈良の有名なもの(茶筌など)や建物(世界遺産)を外国の方に多く知ってもらうためには何をしたらいいのか
- ・奈良の有名なところは観光客のみなさんが既に行ってる可能性があるので、マイナーなところを伝える企画
- ・「全国の修学旅行生達は奈良に来るのに奈良には泊まってもらえない」
全国の修学旅行生達に奈良に泊まって奈良でお金を使ってもらえるようにはどうしたらいいかを皆で話し合いたいと思います。
- ・南側を盛り上げる、宿泊客を増やす、民泊
- ・奈良の環境事業の拡大、発展。人と人とのつながり。安心できるまちづくり。自分たちが好きになれるまちづくり。

- ・奈良市を住みやすい町にするためにどのようなことができるか。
- ・「コロナ終息に向けて経済の復興」など
- ・今日出た意見をもとに、更に深めて話し合っていきたい。具体的なコロナ対策についてなどの大前提の話をしっかりする。実施するにあたって、その話が他の行事に埋もれてしまわないように工夫する。
- ・子どもたちのネットの利用について(オンラインシステムが拡充するほどネットでの危険は増えると思うから。)
- ・コロナとは別の話題で話し合いたい
- ・ブラック校則が問題になってるからそれとかかな。今の学校にブラック校則はないけどね

(問6) 奈良市は子どもにやさしいまちだと思いますか。

選択肢	人数	%
とても思う	15	54%
思う	8	29%
あまり思わない	2	7%
まったく思わない	0	0%
わからない	3	11%
計	28	100%

(その理由) ※一部抜粋

【とても思う】

- ・毎年毎年このような会議を行っていただき、また提案内容をしっかり実現していただけるからです。
- ・「子ども会議」というイベントがあったり、子供が楽しめる公園やお店がたくさんあったりするから。また、大人も子供に優しいから。
- ・このような会議を開くのは全国的に見ても少ないと聞いたし、この会議のためにたくさんの大人の人が頑張ってくださったから。奈良市(奈良県)の政策に子どもの意見も交えようとしてくれているから。
- ・オンライン授業などのために高い予算でChromebookを配布していただいたことなど。
- ・私達のためにしてくれていることがたくさんあると感じるからです。
- ・子どもが遊べる広いスペースや建物がたくさんあるからです。それに、事件などもほとんど起こらないからです。
- ・奈良市の市長さんが「オンラインやSNSでどうがなどをアップするのは良い」と言っていたので、「まあまあ良いじゃない」みたいな言い方ではなかったの、上から目線でも下から目線でもないから、やさしいと思った。
- ・何事にも一緒に接してくれるから。
- ・私は県外の学校へ通っているが、教育熱心な方が奈良県は多いなと感じだから。
- ・子どもの人数は少ないけれど奈良県は比較的公園が多いから。
- ・市や県主催の子供向けイベントや子育て支援センター(はぐみセンター)等で開催しているイベントでは参加している方が多く、楽しかったから。
- ・コロナ感染予防などを子どもに対しても徹底的に行い、冬休み中の部活動を制限するなどして、守ってもらえている気がするから。

【そう思う】

- ・今年、一人一台タブレットが配布され学習面のすることの幅が広がってより良い学校生活が送れているから。
- ・小学生と中学生の全員にノートパソコンを渡すということはとても画期的だと思いました。他府県の人に聞いてもびっくりされます。勉強やレポート作成などさまざまなことでどんどん活用したいと思います。ありがとうございます。
- ・遊ぶ場所が少ないけど住みやすいとは思うし、地域の子ども会などの活動が活発で人との繋がりが多いと思うから。
- ・遊ぶ場所はあまりないから残念だけど、住みやすい。
- ・市立の高校がある点。遊ぶ場所があまりない点。
- ・僕は今まで元気に過ごしてきたから。
- ・もっと子どもに向けてできることがあると思う。
- ・こういったかたちで、子ども同士の会議などが多く感じるから

【あまり思わない】

- ・遊ぶところがないから。
- ・(僕のかよっている)小学校がなくなってしまうから。

【わからない】

- ・そういう疑問をいただいたことがないから

・私は中学校、高校と京都に通っているため正直奈良の学校の設備等についてはいまいちわからない。しかし、奈良市はエアコンが設置されるのがとても遅かったし、小学校の頃の記憶だけをたどれば、壊れたトイレがなかなか直してもらえないなどの状況があったのであまり良い環境だったとは言えないかもしれない。しかし、このような子ども会議などを行ったり、奈良の歴史や文化を子どもに知ってもらおうという活動はとても充実しているなど感じている。

・優しいというのはどういうことかあまりわからないから。イベントなどがあるという意味では楽しい街だとは思う。(ただ、告知が少し下手なのかなと思ってしまった。いいポスターやいいイベントでもあまり告知を見かけないから。)

(問7) 奈良市子ども会議に参加して、良かったところ、悪かったところ、変えてほしいところなど、自由に感想や意見を書いてください。(開催時期、回数、オンライン開催、内容など) ※一部抜粋

・仕方がないがオンラインでは、機器のトラブルなどがありうまく次に進めないことがあった。

・オンライン開催で初めに時間がかかっていて話し合う時間がなく、残念だった。2回しかなかったというのも、少し物足りなかった。去年と比べれば、内容をより良くするだけなので去年よりは少ない時間でできたけれど、話し合いらしき話し合いができなくて残念だった。改良というのは、普通に作るのと同じぐらい時間がかかることだし、もっと時間をかけたかった。

・通信が途切れて発表できなかった子に優しくまた発表の機会を与えていたことが良かったと感じました。

・自分の家庭の問題かもしれないけど、音声かとぎれとぎれだったりしたこと、他には、他校の人たちとの交流を深めたいので、班どうしでもいいので、雑談などでもいいので仲を深めたりしたほうがいいと思った。

・リモートではグループに分かれたあと、もう一度自己紹介をしたほうがいいと思いました。

・結構良かった。全体の話し合いとグループでの話し合いをしっかりと使い分けていた。

・一人ひとり当ててくれるので発表がしやすくよかったです。最後に他のグループの意見もまとめて教えてくださるのが良かったです。

・全員が意見を言える機会があるのでとてもいいと思いました。発表するのが苦手な人でも、こういう機会が増えていって、いつか発表できるようになると思います。他に言うことはありません。今年はコロナのせいでオリンピックがなくなり、予定していた事ができませんでしたがオンラインで参加できました。今年は2回の開催でしたが、来年は今年よりも多く開催できることを願っています。ありがとうございました。

・開催時期は冬休みに入ってからなので、とても参加しやすい。

・良かったことで、何事にも優しく接してくださって、全く緊張せずに議論ができたことです。

・とても充実していました。強いて言うなら、オンラインで難しいと思いますが、もっと回数を増やしてほしいです。そしてもっと自分たちで意見をまとめたいです。

・オンラインの日と直接会って話し合う日の2つを設けてもいいかもしれない。もう少し回数があれば皆アイデア豊富な人ばかりだったのでもっとたくさん意見が出たかもしれない…

今回子ども会議に参加出来て本当に楽しかったです！コロナ禍の中出来たのは職員の皆様、市長さんやにぎわいの家など沢山の方がいてこそ出来たことなのかなと思いました。次回も開催することがあれば是非参加したいと思っています！



Ⅲ 奈良市子ども会議意見書

令和2年度奈良市子ども会議では、参加者募集の段階から全体のテーマを「コロナ禍での奈良市の『新しいおもてなし』とは？」に絞り、令和元年度子ども会議提案内容をもとに、5つのグループにわかれて議論を行いました。そして、出された多くの意見を自分たちで主体的に実現することを意識しながら、「提案」について意見をまとめてくれました。

提案された内容については、来年度での実現に向けて、準備や検討を進めていきます。

今回は、オンライン開催だったため、市長に提出するための意見書は事務局が作成しました。その内容は次のとおりです。なお、意見書の原本は、別冊資料として添付しています。

[グループメンバー一覧]

Aグループ

谷田 仁胡	藤上 媛美	増田 修英
大庭 駿吾	谷田 俊明	小野寺 凜音

Bグループ

赤阪 武紗志	橋長 芽生	森本 楼世
柴田 ふうか	辻 海翔	松田 昊也

Cグループ

万徳 一弘	中西 澄夏	清水 イチロー
前田 梨緒	大本 幹英	

Dグループ

渋谷 一心	五石 拓見	芝崎 もも	田辺 美海
斎藤 咲良	柴 知依	茨木 恵	

Eグループ

石田 若葉	古川 太一	小國 咲代
馬淵 苺歌	栗本 みどり	向山 温登

(1) 令和元年度子ども会議提案内容実施にあたって、どんなコロナ対策が必要か？

※令和元年度子ども会議提案内容

①日本文化のイベント ②奈良のおすすめ場所の広報活動 ③街頭インタビュー

[提案内容]

【Aグループ】

①日本文化のイベント

- ・マスクをつけてもらい、検温を行う。アクリル板を設置する。
- ・対面ではなく、オンラインで体験イベントを実施する。

②奈良のおすすめの場所の広報活動

- ・街頭でポスターを配付するのではなく、サイトやテレビを使って広報活動をする。

③街頭インタビュー

- ・直接話すのではなく、オンラインでインタビューを行う。
- ・テレビを設置して、話しかけてきてくれた人にインタビューを行う。
- ・マスクを着用して、ソーシャルディスタンスを確保し、3密を避けてインタビューを行う。

【Bグループ】

①日本文化のイベント

- ・人数制限をする。
- ・ホームページでにぎわいの家の混雑状況を確認できるようにする。
- ・予約制にする。
- ・手洗い、うがい、換気をこまめに行う。

②奈良のおすすめの場所の広報活動

- ・ネットを活用して、奈良のイベント情報を発信する。

③街頭インタビュー

- ・マスクの着用、消毒などのコロナ対策を心がける。
- ・観光客に対して、どこから来たのかシールを貼ってもらって確認する。
- ・駅の前にパソコンを配置してリモートでインタビューする。

【Cグループ】

①日本文化のイベント

- ・パフォーマンスは録画して配信する。
- ・使ったものは消毒する。
- ・花火で奈良を応援する。（線香花火であれば距離をとってできる）

②奈良のおすすめの場所の広報活動

- ・パンフレットなどを配るときは、マスクや手ぶくろを身に着ける。

③街頭インタビュー

- ・奈良県外の「奈良ファン♡」（奈良に行きたい人、行ったことがある人など）を募集してインタビューする。
- ・インタビューする班の人数を減らす。
- ・距離をとってインタビューする。
- ・インタビューするときは予約にして、時間帯をずらす。
- ・ホームページでアンケートを作って、インタビューがわりに答えてもらう。

【Dグループ】

①日本文化のイベント

- ・オンラインでできるものにしばって体験イベントを実施する。
- ・もしにぎわいの家で実施するのであれば、消毒を行ったり、たくさんの人が1つのものを使うのを避ける。
- ・流しそうめんなどの食べ物関係のイベントは感染リスクがあるので避ける。
- ・講談師の話を聞くなどのイベントは、距離をとればできるのでは？
- ・少人数制で行う。
- ・奈良のゆるキャラと写真撮影。

②奈良のおすすめの場所の広報活動

- ・チラシやポスターを配るのではなく、SNSなどのオンラインで広報活動をする。
- ・観光客に、東大寺などの奈良の観光スポットに来た感想をSNSにアップしてもらう。
- ・オンラインツアーを行う。
- ・観光地の近くに奈良のいいところをまとめた資料をはってもらうか、チラシを置いておく。
- ・ポスター原案を考えておいて、コロナが落ち着いたら配りに行く。

③街頭インタビュー

- ・インタビューする際は、マスク＋フェイスシールドをつけ、検温を実施する。
- ・インタビューする側とされる側で、どう人を配置するかを事前に決めておく。
- ・インタビューの相手が日本人か外国人かで、インタビュー内容を変える。

◎日本人の場合…

- ・実際に奈良を訪れている人に「奈良の楽しみ方の裏ワザ」を聞いてみる。
単なる「楽しかった」だけではなくて、より深いことを聞くことができる。

◎外国人の場合…

- ・Twitterなどでインタビュー相手を募集して、Zoomでインタビューを行う。
インタビューの相手として、奈良に来たいと思っている外国人と、奈良に来たことのある外国人の2パターンを想定。
- ・通訳の人に入ってもらってもいいが、話す言語を「英語」だけに限定するなどして、なるべく自分たちができる範囲でインタビューを実施する。
必要であれば、Googleの翻訳アプリを使う。

【Eグループ】

①日本文化のイベント

- ・参加人数の制限、消毒、マスク着用。（コロナ対策の基本的なことを行う）
- ・ソーシャルディスタンスを確保できる体験イベントにしばって実施する。
- ・けん玉や書道などの体験をリモートで行う。

②奈良のおすすめの場所の広報活動

- ・ポスターで広報
配るのではなく、観光客がよく来る場所（駅の掲示板など人目の多いところ）に貼る。
ポスターの横にコロナ対策実施中の紙を貼っておく。
地元の人しかわからないようなおすすめスポットも紹介する。
- ・外に出ない人も多いので、SNSサイトメインで広報。

③街頭インタビュー

- ・ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・台紙にシールを貼ってもらう。

- ・インタビューを対面で実施するのではなく、観光地にQRコードを設置してアンケートに回答してもらう。もしくは紙に書いて箱に入れてもらう。
- ・奈良に興味のある人を募って、リモートで実施。

(2) コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？

[提案内容]

【Aグループ】

- ・動画をアップして、オンラインで宣伝する。
（例）奈良の有名なもの（食べものや場所、にぎわいの家など）の動画など
- ・通販サイトやふるさと納税でおみやげを売る。
（例）しかまるくん・せんとかんグッズや食べもの、藍染めのマスクなど

【Bグループ】

- ・カメラで奈良の状況をリアルタイムで配信する。
あとからでも見られるように動画を残しておく。
- ・ホームページで今の奈良の風景を写真で公開する。
- ・SNSでも動画を配信してハッシュタグをつけて広める。

【Cグループ】

- ・行事はYouTubeなどで配信する。
- ・体験（お茶など）は材料などを自宅へ送ってMeetなどでレクチャー。
- ・観光名所を動画で配信する。
- ・自分たちでならまちをまわって散策動画を配信する。

【Dグループ】

- ・奈良のイベントをライブ配信する。（例：おんまつりのライブ配信）
- ・奈良に来る予定だった人を募って、カメラで歩いてリモートで観光案内する。
- ・奈良をめぐった気分になれるVRをつくって、YouTubeにアップする。
- ・ストリートビューみたいに、東大寺や興福寺の中が見れるようにする。
- ・おみやげや特産物を郵送で届ける。

【Eグループ】

◎広報活動

- ・SNSメイン（YouTubeライブ配信、「どこでも奈良」動画アップ）
写真、アップする動画の中身
⇒ 有名な場所（今の奈良公園の様子など）、実際に行ってすぐ見られるような景色、奈良のありふれた日常など
おすすめスポットを回ってロケ、コメント付きで紹介する。
奈良県で実施しているコロナ対策もあわせて広報。
- ・SNS投稿だけではなく、プラスαで特典をつける。
オリジナル絵葉書、奈良で使える券、動画見たよといったら割引になる など
※プレゼント企画…金銭的に難しければ、抽選で選ばれた数名にプレゼント。

・ SNS拡散方法

奈良県にいるインフルエンサーの方や市長さんなどに、奈良の画像（お店など）を投稿してもらっておすすめしてもらう。自分たちでハッシュタグを作って、しみんだよりのワンコーナーとかに「#〇〇で奈良のおすすめスポットを宣伝しよう」で画像投稿してもらうよう呼びかける。

※その他の案…スタンプラリー形式：QRコードを読み込む形式。

行った場所の写真とハッシュタグで拡散。

・ 年配の方に対しての広報（外国人+奈良県に住んでいる人にも向けて）

しみんだよりのワンコーナーを使って、自分たちで記事を書く。

（子ども会議の記事もあわせて掲載）

テレビやラジオ、新聞の折り込み、喫茶店にお知らせを設置、回覧版などで広報。

（３）「奈良に行ってみよう！」と思ってもらうためにはどうしたらいいか？

〔 提案内容 〕

【Aグループ】

・ 動画としてYouTubeにアップする。

※動画の内容：奈良の有名な場所、イベント、世界遺産の紹介、奈良のキャラクター、奈良で行っているコロナ対策など。

・ 「奈良はいいところだ」と思ってもらえるように、笑顔で接して奈良県をアピールする。

【Bグループ】

・ ポスターや動画などで配信する。

・ 子ども会議のYouTubeチャンネルをつくって奈良の良さを配信する。

⇒奈良の柿の葉寿司や三輪そうめんづくりを体験できるイベントや、売っているお店見学の様子などを配信する。

・ 奈良漬けなど奈良の食べものを抽選でプレゼントする。

【Cグループ】

◎「奈良を知ってもらおう！」をテーマに広報活動

・ TwitterやYouTubeチャンネルで「#奈良ってみた」投稿

「〇〇やってみた」シリーズを更新していった、

より詳しく、よりおもしろく奈良について世界中の人にアピールしていく

（例）「お茶体験やってみた」「鹿とたわむれてみた」

「奈良に関する質問に答えてみた」

「奈良の炭を使って書道やってみた」

「和菓子作りしてみた（鹿モチーフの練り切りとか?）」

「柿の葉寿司つくってみた」

「奈良の行事に行ってみた（おんまつり・燈花会）」 など

※「鹿とたわむれてみた」の動画では、地元の人や自分たちのような地元の小中学生、高校生、大学生、奈良出身の有名人、お店の人に出してもらう。

※「奈良に関する質問に答えてみた」の動画では、奈良に関する質問を募集して答えていく。

◎その他の案

- ・奈良の七不思議さがしをして、子どもに興味を持ってもらう。
- ・奈良出身の芸能人に出演してもらう。

【Dグループ】

- ・年齢関係なく幅広く広報する。
- ・奈良の観光スポットをまとめた動画をつくる。
- ・奈良で使えるクーポンを作成する。（コロナが落ち着いたら使えるようにする）
- ・お年寄りへのPRとして本を発行する。
- ・手作りの書き込みのあるマップやポスターをつくる。
（例）千年前のマップ、かき氷マップのようなもの
- ・Instagramや電車の広告などいろいろなところを利用して奈良をPRする。

【Eグループ】

- （２）コロナの影響により、奈良に行きたくても行けない人に対してできることは何か？
と同様の内容

（４）コロナ禍で感じていたこと（１２月２４日話し合い内容）

〔意見内容〕

- ①コロナによる自粛状況の中（３～５月ごろ）で感じていたことは何ですか？
- ・LINEやGmailを通して会話はしていたけど、友だちと会えなくてさみしかった。
 - ・イベントが中止されたりして、いろいろなストレスや不安がたまっていた。
 - ・オンライン授業が始まったときは授業が楽しくなかった。普段とちがって一方通行な授業が嫌だった。
 - ・受験がどうなるんだろうという不安があった。また、受験が終わった後も毎日のようにニュースで感染者〇〇人というのを見てだんだんこわくなってきて自粛していた。
 - ・友だちや家族がコロナになるか心配だった。
- ②学校が再開されたときはどう思いましたか？
- ・友だちに会えてよかった、うれしかったという気持ちが大きかった。
 - ・勉強や授業についていけるか不安だった。
 - ・入学式や始業式があった後に休校になってしまったので、再開されてから新しい環境で友だちができるか、先輩や後輩たちと仲良くやっていけるかという不安があった。
 - ・高校に入学して、わくわくしたり楽しみだったという意見もあったけど、年齢が上がって初めての生活だったので、精神的にも体力的にもしんどかった。
 - ・体育祭や文化祭などのイベントがすべてなくなってしまったので、残念な気持ちでいっぱい。
- ③今、コロナ第３波がやってきていることに対してどう感じていますか？
- ・またみんなに会えなくなってしまうのかなと思うとさみしいし、休校がこわい、いやだという気持ちがある。
 - ・Go To トラベルがあったり、自粛に慣れて遊びに行ったりしてしまっ、冬の乾燥する季節

なのに、第1波のときより危機感がうすれていることがこわく感じている。
・コロナになってしまいそうで、こわくて心配。





令和2年度奈良市子ども会議集合写真

第1回、第2回奈良市子ども会議開催時撮影(令和2年12月24日、28日)

令和2年度奈良市子ども会議報告書

令和3年3月

【発行】

奈良市子ども未来部子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話:0742-34-4792 FAX:0742-34-4798

E-mail:kodomoseisaku@city.nara.lg.jp